

番 号	令7・12号	受理月日	令和7年9月5日	付託月日	令和7年9月18日
件 名	8月6日・9日を人類総ザンゲの日として休日とする意見書を国会・政府に提出することを求める陳情				
請 願 者					
紹介議員					
<p><陳情趣旨></p> <p>「平和都市宣言」世田谷区として、核兵器廃絶、平和へのとりくみとして、被爆地の願いと賛同・連帯し「8月6日・9日を人類総ザンゲの休日とする意見書」を地方自治法第99条の規定により、国会・政府に提出することをお願い申し上げます。</p> <p><陳情理由></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 合体標語（被爆国首相よ8月6日・9日を人類総ザンゲの日として休日に制定せよ）は、被爆地ヒロシマ・ナガサキ市内11万世帯に、54年前から1軒1軒のお宅に掲示され続けられています。 2. 広島市議会に於いて被爆70周年、80周年に向かって2度、意見書が政府・国会に提出されました。 3. 佐藤栄作元首相の頃より、被爆者の直訴が開始され現在に至り、その訴えは市民に継承され続けております。 4. 被爆者の願いは全人類の願いであることは国民のみならず共有されていることは、人類が核兵器の脅威に今尚さらされている現実があります。 5. 「何の為の犠牲であったのか」生き証人被爆者の方々が原爆によって犠牲となられ亡くなって逝かれた肉親の死が、第5福竜丸事件（ビキニ水爆実験）によって全て無駄にされた絶望のどん底にありました。しかし、絶対原爆否定の自決の死により、合体標語が生まれました。 6. 被爆地ヒロシマでは当時何千通もの首相への直訴状、そして何十万の合体標語への署名が occurred しました。 					

7. 「世界唯一の被爆国」としての中身は、まず国民である私達がヒロシマの心、ナガサキの心と一体共有する心が生まれること、そのまた中身とは合体標語の実現以外になく、全てのイデオロギー、思想をのりこえ、あたり前の人間性から始まることを望みます。

8. 「あたり前の人間性」は、「人類の終わりをみた」と叫ばれる被爆者の方々の心の奥深くに起こってしまった、人類の初めてのものであるにちががなく、その「伝承」が人間の世に通じない筈がないと固く信じ続けられておられます。しかし、すでに戦後80年も経ってしまっています。全ての戦争犠牲死者の方々の為にもご遺族の苦しみ、悲しみ、そして未来を生きる子供たちの為にも人類の終わりから始まる被爆地に生まれた心、合体標語の実現にむかって、世田谷区が先ずその心に立ちあがって頂きたく、よろしくお願い申し上げます。

最後に、国会請願が今年6月によりやく受理されました。更に請願は続けられます。被爆地ヒロシマ・ナガサキの心を原点として新しい平和の人類のための「被爆国」の心を合体標語の実現によって、全世界を助けて頂きたく、重ねて区議会の皆様の心にお願いを申し上げます。